



ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)

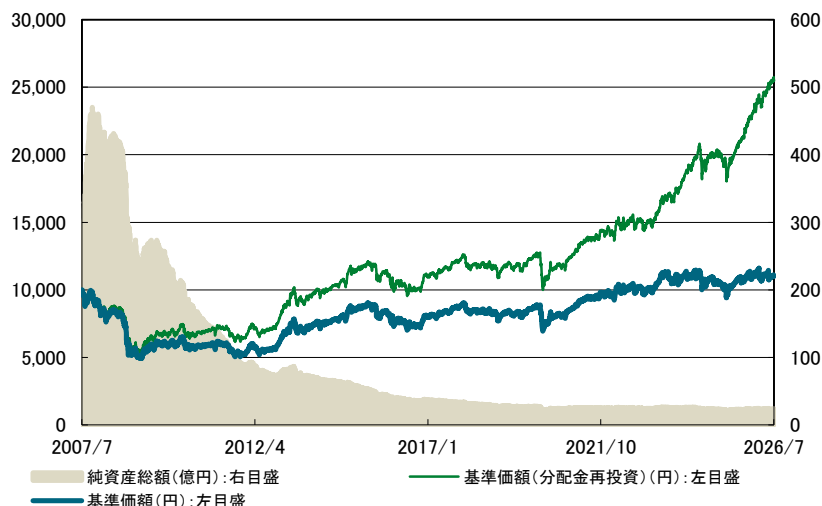
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2007年7月20日

作成基準日 : 2026年7月31日



基準価額の推移



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	11,000 円	+ 82 円
純資産総額	23.88 億円	+ 0.51 億円

期間別騰落率

	騰落率
1ヵ月	0.84%
3ヵ月	3.48%
6ヵ月	9.41%
1年	23.04%
3年	53.34%
設定来	154.78%

- ※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 7,640 円

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2025年	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	460 円	10 円	10 円	510 円
2026年	10 円	10 円	510 円	10 円	10 円	510 円	10 円	-	-	-	-	-

- ※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

<本資料のお取り扱いにおけるご留意点>

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。



ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2007年7月20日

作成基準日 : 2026年7月31日



組入投資信託証券の状況

投資信託証券	資産 構成比	基本 組入比率	差	基準価額 騰落貢献額
FOFs用世界高格付インカム債券ファンド(適格機関投資家専用)	28.77 %	30.00 %	-1.23 %	20 円
GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)	19.66 %	20.00 %	-0.34 %	33 円
FOFs用世界配当利回り株ファンド(適格機関投資家専用)	19.22 %	20.00 %	-0.78 %	74 円
FOFs用日本好配当株ファンド(適格機関投資家専用)	19.01 %	20.00 %	-0.99 %	- 33 円
グローバルREITインデックス マザーファンド	9.78 %	10.00 %	-0.22 %	4 円
その他	3.56 %	-	-	- 16 円
合 計	100.00 %	100.00 %	-	82 円

※ 対純資産総額比です。

組入上位10カ国・地域

	国・地域	比率
1	日本	26.17%
2	米国	24.39%
3	中国	8.60%
4	オーストラリア	5.14%
5	英国	4.75%
6	スペイン	3.70%
7	カナダ	3.31%
8	ポーランド	2.99%
9	マレーシア	2.16%
10	ドイツ	2.03%

※ 対純資産総額比です。

組入上位10通貨

	通貨	比率
1	日本円	26.17%
2	米国ドル	24.39%
3	オフショア人民元	8.60%
4	ユーロ	8.36%
5	英国ポンド	6.33%
6	オーストラリア・ドル	5.14%
7	カナダ・ドル	3.31%
8	ポーランド・ズロチ	2.99%
9	マレーシア・リンギット	2.16%
10	香港ドル	1.47%

※ 対純資産総額比です。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)

追加型投信／内外／資産複合

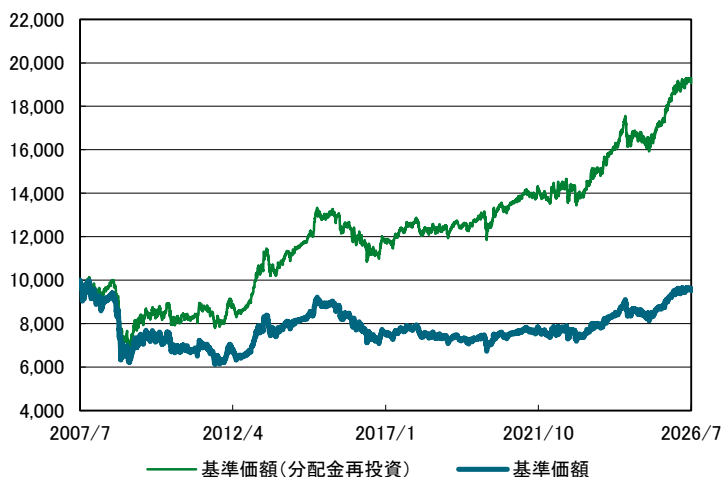
当初設定日 : 2007年7月20日

作成基準日 : 2026年7月31日

FOFs用 世界高格付インカム債券ファンド(適格機関投資家専用)の資産の状況

※ 当ファンドは「世界高格付インカム債券 マザーファンド」を主要投資対象とします。債券評価額には経過利子を含めています。

基準価額の推移



※ 上記グラフは、「FOFs用 世界高格付インカム債券ファンド(適格機関投資家専用)」の当ファンドへの組入開始時を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。

※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

期間別騰落率

	ファンド
1ヵ月	0.63%
3ヵ月	0.53%
6ヵ月	3.40%
1年	12.46%
3年	30.63%
組入開始来	92.97%

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

特性値

最終利回り	4.15 %
修正デュレーション	6.13
銘柄数	29

※ 修正デュレーションとは債券価格の金利変動に対する感応度(変動率)を表しており、この値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※ 利回り(税引前)は純資産総額に対する値、その他は組入債券に対する値です。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

組入上位5通貨

	通貨	比率
1	ユーロ	16.35%
2	オーストラリア・ドル	15.69%
3	米国ドル	15.54%
4	英国ポンド	15.19%
5	カナダ・ドル	9.73%

※ 対純資産総額比です。

組入上位5銘柄

	銘柄	クーポン	償還日	比率
1	スペイン国債	2.350%	2033/7/30	12.68%
2	オーストラリア国債	1.000%	2030/12/21	10.73%
3	ポーランド国債	1.750%	2032/4/25	7.51%
4	米国国債	2.875%	2028/5/15	5.90%
5	英国国債	4.500%	2042/12/7	5.53%

※ 対純資産総額比です。

市場動向と運用実績

【市場動向】

<債券>

米国では、月前半は雇用統計が伸び悩んだことでFRB(米連邦準備理事会)の利上げ観測が後退し金利は低下(価格は上昇)しましたが、イランとの軍事的緊張の継続や原油価格の上昇によるインフレへの警戒感が再び強まったことから、金利は上昇基調で推移しました。月末のFOMC(米連邦公開市場委員会)で政策金利は据え置かれたものの、記者会見で早期利上げ観測が後退したことでインフレ懸念が高まり、月末にかけて金利は上昇しました。欧州では、月初にユーロ圏の6月分CPI(消費者物価指数)が市場予想を下回る鈍化となったことを受けてECB(欧州中央銀行)の追加利上げ観測が後退しましたが、米国同様に資源価格上昇に伴うインフレへの警戒感が強まったことから、金利は上昇基調で推移しました。英国では、CPIが高止まりする一方、失業率は概ね横ばいで推移するなど労働市場が総じて安定していたことから、BOE(英中央銀行)は7月の会合で政策金利を据え置きましたが、資源価格上昇に伴うインフレへの警戒感が強まったことから、月を通して金利は上昇基調で推移しました。オーストラリアでは、米・イラン間の軍事衝突に伴う原油価格上昇の影響を受けて、金利は上昇しました。

<為替>

日本政府による骨太の方針2026の当初案を受けて、財政規律に関する不安や日銀による利上げを牽制するとの思惑が高まったことが円安要因となり、月後半にかけて投資国の通貨は対円で上昇しました。しかし、月末に日米当局による円買い・ドル売りの為替介入が円高要因となり、米ドルやユーロ、マレーシア・リンギット、ポーランド・ズロチは対円で下落に転じました。

【運用実績】

通貨配分につきましては、豪ドルやユーロ、米ドルの組入比率を高めに維持しました。なお、月末時点ではリスクが特定の通貨に偏在しないポートフォリオを構築しています。また、平均デュレーションは、前月と同程度の水準を維持しました。

※ 「ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)」が投資する投資信託証券の資産内容は、三井住友トラスト・アセットマネジメントが各運用会社からの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2007年7月20日

作成基準日 : 2026年7月31日

GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)の資産の状況

※ 当ファンドは「GIM新興国現地通貨ソブリン・マザーファンドⅡ(適格機関投資家専用)」を主要投資対象とします。

基準価額の推移



※ 上記グラフは、「GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)」の当ファンドへの組入開始時を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。

※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

※ 参考指数は、組入開始時から2010年5月31日まではJPモルガンGBIーエマージング・マーケット(円ベース)、2010年6月1日からはJPモルガンGBIーエマージング・マーケット・グローバル(円ベース)です。

「JPモルガンGBIーエマージング・マーケット・グローバル」とは、J.P.Morgan Securities LLC が公表している新興国の債券のパフォーマンス(投資収益)を表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities LLC が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数の著作権等は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属しています。

期間別騰落率

	ファンド	参考指数
1ヵ月	1.56%	1.54%
3ヵ月	3.95%	3.83%
6ヵ月	7.44%	8.57%
1年	18.30%	18.57%
3年	35.12%	36.58%
組入開始来	82.68%	122.73%

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

特性値

最終利回り	5.77 %
修正デュレーション	6.18
銘柄数	79

※ 各特性値は、純資産総額に対する値です。最終利回り(税引前)は、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

組入上位5通貨

	通貨	比率
1	オフショア人民元	43.76%
2	メキシコ・ペソ	6.05%
3	ブラジル・レアル	5.14%
4	インド・ルピー	4.56%
5	コロンビア・ペソ	4.51%

※ 対純資産総額比です。

※ 当マザーファンドは、クレジット・リンク債に投資することがあります。同債券は、パフォーマンスが連動する国の通貨に分類しています。

組入上位5銘柄

	銘柄	クーポン	償還日	比率
1	CHINAGOV1.67%MAY35 INBK	1.670%	2035/5/25	7.81%
2	CHINA GOVT2.68%MAY30INBK	2.680%	2030/5/21	6.81%
3	CHINAGOV2.27%MAY34 INBK	2.270%	2034/5/25	4.54%
4	CHINAGOV2.76%MAY32 INBK	2.760%	2032/5/15	4.41%
5	CHINA GOVT3.27%NOV30INBK	3.270%	2030/11/19	4.40%

※ 対純資産総額比です。

※ 運用会社の方針により前月末のものを記載しています。

※ クレジット・リンク債のクーポンについては、元本部分が現地通貨建て、利払い部分が米ドル建てであるため、利払い額が確定しないので「-」と表示しています。

クレジット・リンク債(CLN)とは、信用リスクを別の債券の信用に結びつけた債券をいいます。金融機関が、ある新興国債券にパフォーマンスが連動する新たな債券(=クレジット・リンク債)を発行するような例があります。

市場動向と運用実績

【市場動向】

当月の現地通貨建て新興国債券市場は、前月末比で上昇(利回りは低下)しました。

継続する中東情勢の緊張から原油価格のボラティリティが高まり、新興国各国の中央銀行が金融政策の微調整を行う姿勢を示す中、底堅い経済指標を支えに上昇しました。

為替市場では、新興国通貨は全般的に対円で下落し、特にエジプト・ポンドやトルコ・リラなどが下落した一方で、コロンビア・ペソやブラジル・レアルは上昇しました。

金融政策については、韓国が政策金利を引き上げた一方、ハンガリーは政策金利を引き下げました。

【運用実績】

当月の当ファンドの基準価額(税引前分配金再投資ベース)は前月末比で下落しました。保有債券の利金収入はプラスに寄与したものの、多くの新興国通貨が対円で下落したことや保有債券の価格が下落したことがマイナスに影響しました。国別ではコロンビアやブラジルなどへの投資がプラスに寄与したものの、南アフリカやハンガリーなどへの投資がマイナスに影響しました。主な投資行動としては、インドやチェコなどの投資比率を引き上げた一方、ポーランドやメキシコなどの投資比率を引き下げました。

※ 「ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)」が投資する投資信託証券の資産内容は、三井住友トラスト・アセットマネジメントが各運用会社からの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)

追加型投信／内外／資産複合

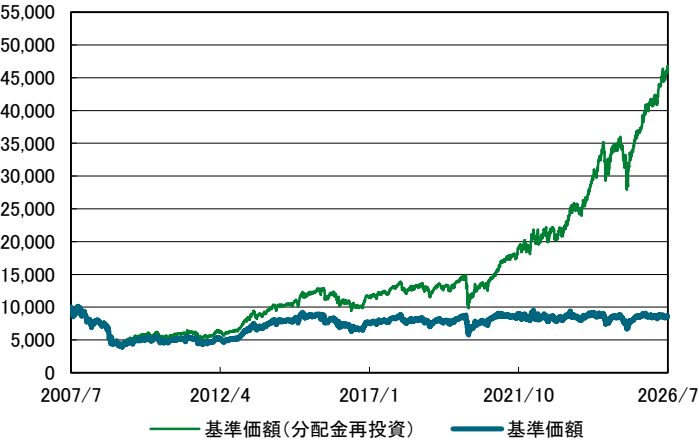
当初設定日 : 2007年7月20日
作成基準日 : 2026年7月31日



FOFs 用世界配当利回り株ファンド(適格機関投資家専用)の資産の状況

※ 当ファンドは「世界配当利回り株 マザーファンド」を主要投資対象とします。

基準価額の推移



※ 上記グラフは、「FOFs 用世界配当利回り株ファンド(適格機関投資家専用)」の当ファンドへの組入開始時を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。
※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

期間別騰落率

	ファンド
1ヵ月	3.71%
3ヵ月	5.59%
6ヵ月	13.11%
1年	27.13%
3年	85.14%
組入開始来	363.40%

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

特性値

予想配当利回り	2.85 %
銘柄数	47

※ 予想配当利回り(税引前)は、各種情報を基に組入銘柄の予想配当利回りを加重平均して算出した値(対純資産総額比)です。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

組入上位5カ国・地域

	国・地域	比率
1	米国	63.36%
2	ドイツ	10.57%
3	英国	8.03%
4	香港	7.18%
5	イタリア	2.58%

※ 対純資産総額比です。

組入上位5業種

	業種	比率
1	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	11.77%
2	金融サービス	10.91%
3	半導体・半導体製造装置	10.72%
4	ソフトウェア・サービス	9.41%
5	公益事業	7.60%

※ 対純資産総額比です。

組入上位5銘柄

	銘柄	国・地域	業種	比率
1	エヌビディア	米国	半導体・半導体製造装置	6.45%
2	マイクロソフト	米国	ソフトウェア・サービス	3.73%
3	アリアンツ	ドイツ	保険	3.59%
4	アルトリア・グループ	米国	食品・飲料・タバコ	3.51%
5	ブロードコム	米国	半導体・半導体製造装置	3.21%

※ 対純資産総額比です。

市場動向と運用実績

【市場動向】

米国株式市場は月間でほぼ横ばいでした。月前半は、AI(人工知能)・半導体関連株が大幅に下落したものの、6月の米雇用統計が市場予想を下回ったほか、中旬に発表された物価指標の伸び率が相次いで前月末比でマイナスに転じたことを受けて、早期利上げ観測が後退したことを背景に上昇しました。月後半は、中東情勢の悪化を受けて原油価格が上昇し、インフレ再燃への懸念が高まり、長期金利が上昇したこと、ハイテク株を中心に下落しました。月末にかけては大手ハイテク企業の好決算を受けて反発しました。欧州株式市場は上昇しました。月前半は、米早期利上げ観測の後退を受けて主要株価指数が上昇しました。その後、中東情勢の緊迫化や世界的なハイテク株の下落が重石となりましたが、ECB(欧州中央銀行)理事会で政策金利が据え置かれたことや、主要企業の好決算を背景に上昇しました。

【運用実績】

基準価額に対しては、良好な決算内容と堅実な設備投資見通しが好感されたマイクロソフト(米国、ソフトウェア・サービス)やAI・半導体関連中心に市場が調整する中で業績の安定性や高い配当利回りが株価の追い風となったHKTトラスト(香港、電気通信サービス)などの銘柄がプラス寄与しました。一方、AI・半導体・データセンター関連への懸念が株価の重石となったパーティプ・ホールディングス(米国、資本財)やシーゲイト・テクノロジー・ホールディングス(米国、テクノロジー・ハードウェアおよび機器)などの銘柄が下落し、基準価額にマイナスに影響しました。

※ 「ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)」が投資する投資信託証券の資産内容は、三井住友トラスト・アセットマネジメントが各運用会社からの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2007年7月20日

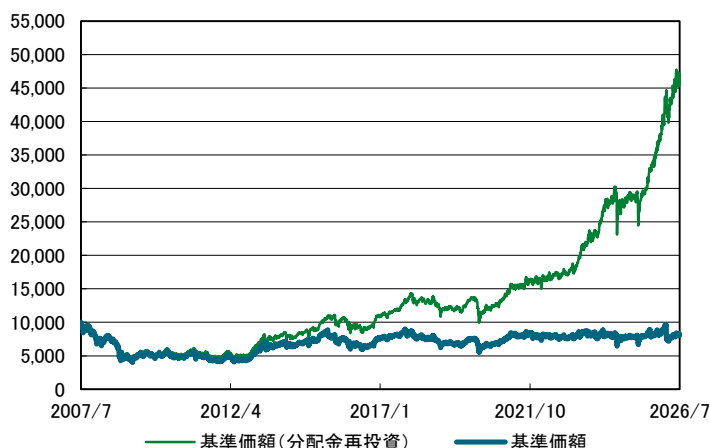
作成基準日 : 2026年7月31日



FOFs 用日本好配当株ファンド(適格機関投資家専用)の資産の状況

※ 当ファンドは「日本好配当株マザーファンド」を主要投資対象とします。

基準価額の推移



※ 上記グラフは、「FOFs 用日本好配当株ファンド(適格機関投資家専用)」の当ファンドへの組入開始時を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。

※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

期間別騰落率

	ファンド
1ヵ月	-1.55%
3ヵ月	5.18%
6ヵ月	14.95%
1年	46.29%
3年	112.02%
組入開始来	354.99%

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

特性値

予想配当利回り	2.68 %
銘柄数	69

※ 予想配当利回り(税引前)は、各種情報を基に組入銘柄の予想配当利回りを加重平均して算出した値(対純資産総額比)です。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

組入上位5業種

	業種	比率
1	電気機器	13.88%
2	銀行業	12.71%
3	建設業	8.87%
4	卸売業	8.12%
5	保険業	5.95%

※ 対純資産総額比です。

組入上位5銘柄

	銘柄	業種	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	5.22%
2	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	4.13%
3	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	3.36%
4	トヨタ自動車	輸送用機器	3.29%
5	東京エレクトロン	電気機器	3.16%

※ 対純資産総額比です。

市場動向と運用実績

【市場動向】

国内株式市場は月間でほぼ横ばいでした。月前半は、海外市場でハイテク株が乱高下するなか、国内市場でもハイテク株が値動きの荒い展開となる一方で、内需株や割安株が買われ、上昇しました。月後半は、中東情勢の悪化による原油価格の上昇を受けたインフレへの警戒感から世界的にハイテク株が売られるなか、国内市場でも関連銘柄が大幅に下落しました。その後、月末にかけて米国とイランの戦闘停止や日米ハイテク企業の好決算を受けてハイテク株が反発しました。月間ではTOPIXがほぼ横ばいとなった一方で、ハイテク株比率の高い日経平均株価は大幅な下落となりました。

【運用実績】

相対的に配当利回り魅力度が高い銘柄や今後の株主還元拡大期待がある銘柄、業績が良好な銘柄などを買い付けた一方で、相対的に配当利回り魅力度が劣る銘柄や業績先行き不安のある銘柄などを売却しました。

具体的には、不採算事業からの撤退を進めている点や積極的な株主還元姿勢を評価しているUBEを買い付けました。

一方、主力製品の販売が伸び悩んでいるクラレを売却しました。

※ 「ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)」が投資する投資信託証券の資産内容は、三井住友トラスト・アセットマネジメントが各運用会社からの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)

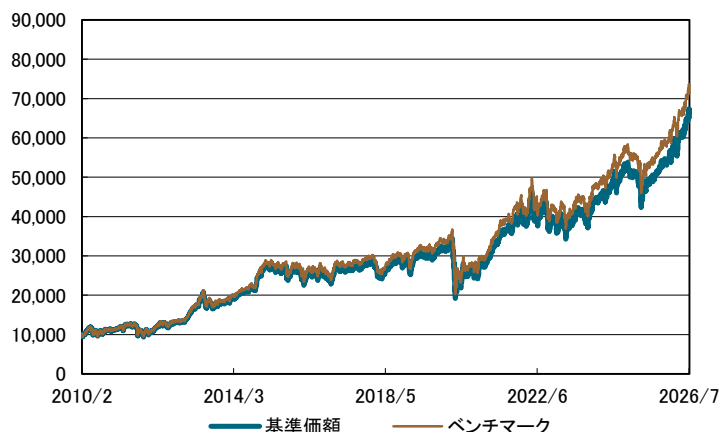
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2007年7月20日

作成基準日 : 2026年7月31日

グローバルREIT インデックス マザーファンドの資産の状況

基準価額の推移



※ 上記グラフは、「グローバルREIT インデックス マザーファンド」の当ファンドへの組入開始時を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。

※ ベンチマークは、S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円ベース)です。

期間別騰落率

	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	0.41%	0.45%
3ヵ月	7.45%	7.64%
6ヵ月	19.34%	19.64%
1年	29.45%	30.09%
3年	58.04%	60.22%
組入開始来	551.74%	612.55%

S&P先進国REIT指数(以下「当インデックス」)とは、S&P Dow Jones Indices LLC(以下「SPDJ」)が公表する指数で、世界主要国に上場するREIT(不動産投資信託証券)及び同様の制度に基づく銘柄の浮動株修正時価総額に基づいて算出されます。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した指数です。

当インデックスは、S&P Globalの一部門であるSPDJの商品であり、これを利用するライセンスが当社に付与されています。Standard & Poor's[®]及びS&P[®]は、S&P Globalの一部門であるStandard & Poor's Financial Services LLC(以下「S&P」)の登録商標で、Dow Jones[®]はDow Jones Trademark Holdings LLC(以下「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが当社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S&P又はそれぞれの関連会社によって支援、保証、販売、又は販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスの誤り、欠落、又は中断に対して一切の責任も負いません。

組入上位5カ国・地域

	国・地域	比率
1	米国	79.14%
2	オーストラリア	6.40%
3	英国	4.28%
4	シンガポール	3.10%
5	フランス	2.08%

※ 対純資産総額比です。

組入上位5通貨

	通貨	比率
1	米国ドル	79.22%
2	オーストラリア・ドル	6.40%
3	英国ポンド	4.28%
4	ユーロ	3.95%
5	シンガポール・ドル	2.97%

※ 対純資産総額比です。

組入上位5銘柄

	銘柄	国・地域	比率
1	WELLTOWER INC	米国	9.41%
2	PROLOGIS INC	米国	7.71%
3	EQUINIX INC	米国	5.85%
4	SIMON PROPERTY GROUP	米国	4.23%
5	DIGITAL REALTY TRUST INC	米国	3.80%

※ 対純資産総額比です。

銘柄数: 275

市場動向

海外(先進国)のREIT市場は上昇しました。

米国REIT市場は上昇しました。原油価格上昇に伴う利上げ観測の高まりを背景に下落する局面がありましたが、物価指標の伸び率鈍化による早期利上げ観測の後退や中東情勢の鎮静化を背景に原油価格が下落したことなどを受け、上昇しました。月末にかけては、FOMC(米連邦公開市場委員会)の結果を受けて金融政策が後手に回るとの受け止めが広がり、長期金利が上昇したことにより下落しました。欧州REIT市場は上昇しました。欧州不動産業界における再編期待の高まりを背景に投資家心理が改善し、英国・フランスを含む欧州各市場は上昇しました。

オーストラリアREIT市場は月間でほぼ横ばいでした。インフレ率の高止まりを背景に長期金利が上昇するなか、REIT市場は下落傾向となりましたが、消費者物価指数が市場予想を下回り、長期金利が低下したことから、月末にかけて上昇に転じました。

※ 「ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)」が投資する投資信託証券の資産内容は、三井住友トラスト・アセットマネジメントが各運用会社からの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2007年7月20日

作成基準日 : 2026年7月31日



ファンドの特色

1. 日本を除く先進国の高格付高金利債券、現地通貨建て新興国ソブリン債券、海外の好配当利回り株式、日本の好配当利回り株式及び海外リートに分散投資し、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。
2. 債券50%、株式40%、不動産(海外リート)10%を基本組入比率として運用します。
3. 原則として、毎決算時(年12回)に収益の分配を目指します。また、年4回(3月、6月、9月、12月)の決算時には、加算分配を目指します。

投資リスク

《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
従って、**投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者の皆様へ帰属します。**
- **投資信託は預貯金と異なります。**

【株価変動リスク】

株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【リートの価格変動リスク】

リートの価格は、不動産市況(不動産稼働率、賃貸料、不動産価格等)、金利変動、社会情勢の変化、関係法令・各種規制等の変更、災害等の要因により変動します。また、リート及びリートの運用会社の業績、財務状況の変化等により価格が変動し、基準価額の変動要因となります。

【為替変動リスク】

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

【金利変動リスク】

債券の価格は、一般的に金利低下(上昇)した場合は値上がり(値下がり)します。また、発行者の財務状況の変化等及びそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。債券価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【信用リスク】

有価証券の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、又はそれが予想される場合には、有価証券の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

【カントリーリスク】

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、又はそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。また、新興国への投資は先進国に比べ、上記のリスクが高まる可能性があります。

【流動性リスク】

時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の換金申込が発生し短期間で換金代金を手当てする必要がある場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。
これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止、取り消しとなる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2007年7月20日

作成基準日 : 2026年7月31日

お申込みメモ

- 購入単位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入価額 … 購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
- 換金単位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額 … 換金申込受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額とします。
- 換金代金 … 原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
- 申込締切時間 … 原則として、販売会社の営業日の午後3時半までにお申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日のお申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入・換金
申込受付不可日 … 申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けないものとします。
ニューヨークの取引所の休業日
ロンドンの取引所の休業日
シドニーの取引所の休業日
ニューヨークの銀行休業日
ロンドンの銀行休業日
シドニーの銀行休業日
- 換金制限 … ファンドの規模及び商品性格などに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間及び金額の制限を行う場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入・換金申込受付
の中止及び取消し … 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及びすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
- 信託期間 … 無期限(2007年7月20日設定)
- 繰上償還 … 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させることができます。
・受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合
・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合
・やむを得ない事情が発生した場合
- 決算日 … 毎月5日(休業日の場合は翌営業日)です。
- 収益分配 … 年12回、毎決算時に原則として収益分配を行う方針です。
- 課税関係 … 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。
ファンドは、NISAの対象ではありません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2007年7月20日

作成基準日 : 2026年7月31日

ファンドの費用

《投資者が直接的に負担する費用》

■ 購入時手数料

購入申込受付日の翌々営業日の基準価額に**3.3%(税抜3.0%)を上限**として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

■ 信託財産留保額

換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に**0.3%**の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。

《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》

■ 運用管理費用(信託報酬)

＜当ファンド＞

運用管理費用(信託報酬)の総額は、以下の通りです。

純資産総額に対して年率0.913%(税抜0.83%)を乗じて得た額

＜投資対象とする投資信託証券＞

純資産総額に対して年率0.4675%程度(税抜0.425%程度)

基本組入比率で按分した投資対象投資信託証券の信託報酬の概算値です。

＜実質的な負担＞

純資産総額に対して**年率1.3805%程度(税抜1.255%程度)**

基本組入比率で按分した投資対象投資信託証券の信託報酬を含めた実質的な信託報酬率の概算値です。ただし、この値は目安であり、投資対象投資信託証券の実際の組入れ状況等により変動します。

■ その他の費用・手数料

有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用等をその都度、監査費用等を日々、ファンドが負担します。この他、投資対象とする投資信託証券においては、当該投資信託証券の信託報酬とは別に、投資信託財産に関する租税や、投資信託の運営・運用等に要する諸費用が発生します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。また、上場投資信託証券は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託証券の費用は表示していません。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「お申込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。



ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2007年7月20日

作成基準日 : 2026年7月31日

委託会社・その他の関係法人の概要

- 委託会社 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社(ファンドの運用の指図を行う者)
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号
 加入協会 : 一般社団法人資産運用業協会
 ホームページ : <https://www.smtam.jp/>
 フリーダイヤル : 0120-668001 受付時間 9:00~17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管及び管理を行う者)

SMTAM投信関連情報サービス
 お客様が指定されたファンドに関する情報(基準価額、レポート)や投資に関するコラム等をLINEでお知らせします。
※LINEご利用設定は、お客様のご判断をお願いします。
 ※サービスのご利用にあたっては、あらかじめ「SMTAM投信関連情報サービス利用規約」をご確認ください。

販売会社

商号等		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)※	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
立花証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第110号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

※ ネット専用のお取り扱いとなります。

- ・ お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、販売会社へお申し出ください。
- ・ 販売会社は今後変更となる場合があります。

ワールド・ファイブインカム・ファンド(毎月決算型)

追加型投信／内外／資産複合

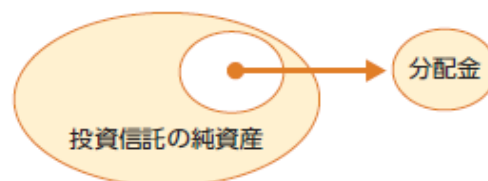
当初設定日 : 2007年7月20日

作成基準日 : 2026年7月31日

収益分配金に関する留意事項

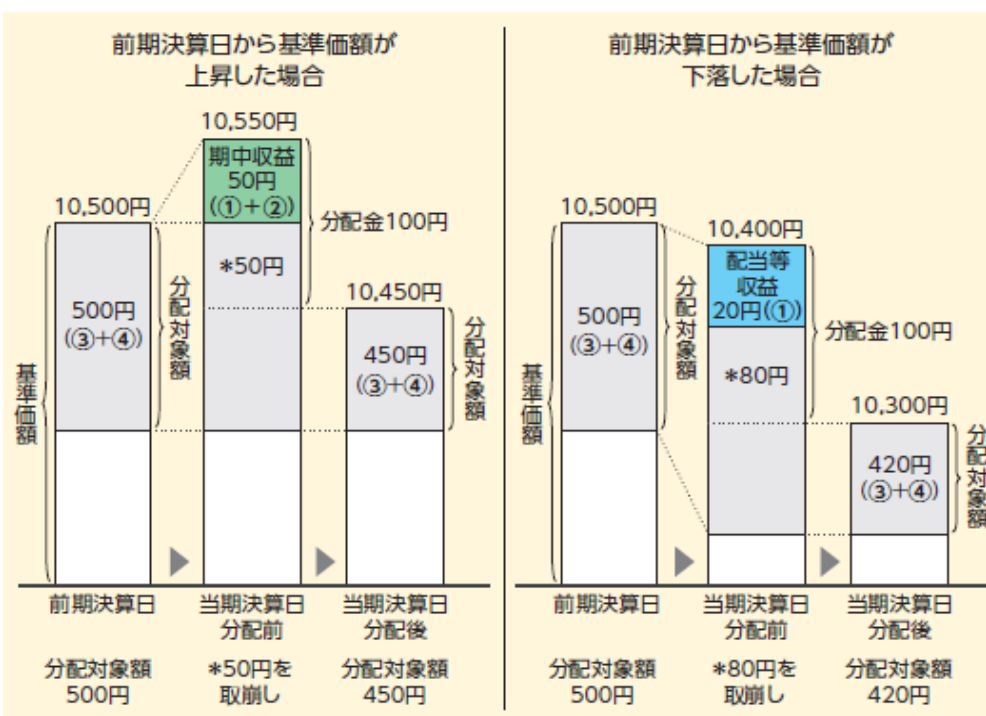
分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益及び評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



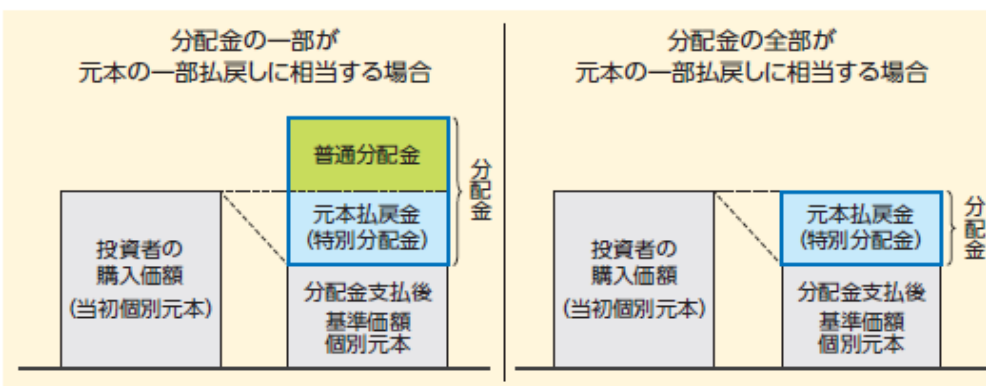
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額は、

- ① 経費控除後の配当等収益
 - ② 経費控除後の評価益を含む売買益
 - ③ 分配準備積立金
 - ④ 収益調整金
- です。

※右記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆あるいは保証するものではありませんのでご注意ください。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。



普通分配金

個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

※普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

元本払戻金(特別分配金)

個別元本を下回る部分からの分配金です。元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、分配後はその金額だけ個別元本が減少します。

※元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。